

館報 はだ



スージーちゃん スイカ7くん

令和7年11月1日現在

世帯数 6,442戸
人口 15,046人
男 7,282人
女 7,764人

信飛トレイル 開通



今年7月14日に「信飛（しんぴ）トレイル」という歩く道が開通したことをご存じでしょうか。この道は松本と高山をつなぐ117kmに及び、全てをそれなりのペースで歩くと6日間で踏破できます。

ルート上のセクション1には、この波田地区も広く含まれています。

明治4年の同日は廃藩置県が行われた日です。松本市と高山市は姉妹都市で、明治9年まで長野県西部と飛騨がひとつの筑摩県でした。姉妹都市50周年にあたる2021年に互いの交流や観光振興を推進することなどを謳う共同宣言を発表しています。信飛トレイルの開通もその活動の一つです。

では、気になるルートを見ていきましょう。セクション1は松本駅から新島々駅で、梓川左岸コースと波田コースに分かれます。セクション2

は島々宿から上高地へ、同3は上高地から焼岳に登り中尾高原へ、同4は中尾高原から福地温泉などを巡り平湯へ、同5は平湯峠を越えて丹生川地区へ、同6は丹生川から高山市内の桜山八幡宮前にある宮前橋までが全行程です。

実際にセクション1を歩いてみたのですが、春や秋は気持ちのよいコースです。松本駅からアルプス公園に登り、これから歩く景色を一望し、梓川沿いを島々に向けて歩いていきます。ただし、1日中歩くとは足は棒のように疲れるので、誰とどのくらい歩くのか、日頃から歩いておくなど、準備をしてから挑戦することをお勧めします。途中で商店やコンビニなどがあるので、歩きやすい靴とリュックサックに飲み物や軽食など持てば、里地のルートは比較的軽装でも大丈夫です。

一方で、セクション2から3は北アルプス奥山への山行で、それなりの技術と装備、判断が必要です。島々からの

登山道は崩れやすく、修復状況を調べておくこと。また、焼岳の噴火警戒レベルも近年上昇傾向にあるので注意したいです。これらは信飛トレイルのサイトから最新情報をチェックできます。

ロングディスタンス・トレイルは世界でも一定の人気を誇る楽しみ方です。この道は国内外からのハイカーが地元の人々とともに歩くツアーを推奨しています。また、地元にとっては健康増進やみんなで歩くイベント参加など、日常のルートとして楽しめます。

波田の国道は上高地線が沿い、少しずつ歩き進めたり、ちよつと気分を味わったりできるのも住民ならではの楽しみ方かもしれません。



22区 バス旅行



10月19日に公民館主催のバス旅行に参加しました。行き先は上越市にある「上越水族館うみがたり」で、約30名の方が参加しました。秋晴れとはいきませんでしたでしたが、心地よい日で、にぎやかな雰囲気の中で出発しました。

バスの車内では、バスガイドさんからの地域の歴史や文化の説明を皆さん熱心に聞き入っていました。世代を超えて交流できるこのような機会は、公民館活動ならではの感じました。途中、濃霧等でありにくの天気でしたが、海側まで出ると、車窓から見える日本海の景色がとても美しく、これから始まる一日への期待が高まりました。

うみがたりに到着すると、まず目に入ったのは大きなガラス水槽を泳ぐマゼランペンギンたちでした。人懐っこい姿にみんなが笑顔になり、写真撮る手が止まりません。

館内では幻想的なクラゲの展示など、見どころが沢山ありました。残念ながらイルカショーは中止でしたが、大きな水槽で優雅に泳ぐ姿を見ることができました。



昼食は「うみてらす名立」で新鮮な海鮮丼を食べました。色とりどりの刺身が盛りられた丼は見た目も美しく、一口食べると口いっぱい海の恵みが広がりました。とても幸せで楽しいひとときでした。



帰りは小布施の市街地周辺に立ち寄り、北斎館を見学したり、栗菓子を楽しんだり。皆さん楽しんでいました。今回の旅行で海の生き物の素晴らしさを感じると同時に、地域の人々とのつながりの大切さを改めて実感しました。

三神社例大祭

去る9月14日、15日の2日にわたり、地域の伝統行事「三神社例大祭」が盛大に開催されました。コロナ禍を経て3回目の開催となる今年は、これまで以上に多くの人が集まり、町内が活気と笑顔に包まれました。14日の宵祭りでは、数年ぶりに「子ども神輿」が復活。子どもたちが元氣いっぱい掛け声を響かせながら、青年会のお兄さんたちを支えられて町内を練り歩く姿は、地域の未来を映すようで大変感動的でした。沿道からは「待っていたよ」と温かい声援が送られ、地域全体で子どもたちを見守りました。



続いて披露されたお祭り青年による「山車曳航」も迫力満点。煌びやかな山車が国道を進むと、地域の人々や訪れた観光客がその雄姿を見守り、共に盛り上がりました。若い

力で引かれる山車の姿は、伝統を未来へと受け継ぐ象徴のようでした。

さらに、宵祭りを彩った「アールプス太鼓演奏」は力強い音色で観客を魅了し、学生による「浦安の舞」では、優雅な舞が境内を神聖な空気で包みました。夕刻からの余興では「ビンゴゲーム」が行われ、子どもから大人までが一喜一憂し、会場は終始大きな笑いと歓声に包まれました。

15日の本祭りでは、厳かな神事が執り行われ、地域の安寧と五穀豊穡が祈願されました。華やかな宵祭りに対し、本祭りは静かな祈りの時間となり、祭りの意義を改めて感じる一日となりました。

本年の三神社例大祭は、子どもから大人までが一体となつて地域の絆を深め、伝統を未来へとつなぐ大切な節目となりました。

ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



12区 1コイン交流会

8月23日、12区主催で寄りあい1コイン交流会を行いました。

町会と公民館で行う初めての行事ということで、企画から準備まで手探りで進めていきましたが、80名を超える参加者に来ていただきました。

夕方からは、大いなる波田体操、ゲーム交流として魚釣り、輪投げ、スカットとボールをチームに分かれて行いました。大人から子どもまで盛り上がり、楽しい時間となりました。勝ったチームは景品のお菓子やかぼちゃを持ち帰りました。



その後、会場を外に移し、焼肉、模擬店など楽しみました。模擬店もポップコーン、

かき氷、わたあめ、水ヨーヨーと、子どもたちにも喜んでもらえました。

最後には花火をし、子どもたちは大喜びで、賑やかな声が聞こえていました。



大勢の方にご参加いただき、大盛況で終えることができました。また、大人から子どもまで楽しむことができたとても良い行事となりました。コロナ禍もあり、同じ区にいてもなかなかゆつくりと話をできる機会もなかったため、今までの時間を埋めるような有意義なひとときを過ごすことができました。

最後になりますが、「1コイン交流会」という名称は、参加費が100円ということでこの名前になっています。とてもお得な交流会です。

8区 総合防災訓練

9月中旬、50名の方にご参加いただき、8区町会総合防災訓練が行われました。

災害時にすぐ対応できるよう毎年行っています。今回は3班に分かれ、左記のとおり実施しました。

○消火器の使用訓練

家庭用消火器の方散時間は約12秒とのことです。

○消火栓からの放水訓練

親子で一緒に放水体験をする姿が見受けられました。

○応急処置講習

①AED講習

②負傷者の搬出体験

毛布1枚使用し、6人で負傷者を運びました。



災害時は自分自身は自分で守る、そして地域の皆さんの協力で助け合うことが重要であると感じました。